

令和元年 6 月 1 7 日

各高等学校長 様

栃木県柔道連盟会長 吉田 忠征
〈公印省略〉

令和元年度栃木県高等学校 1 年生柔道大会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県柔道連盟
- 2 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 3 期 日 令和元年 9 月 8 日（日） 開場 8：00 ※計量 8：30～9：30
審判監督会議 9：40 開会式 10：00（予定）
- 4 会 場 栃木県武道館（宇都宮市中戸祭1-6-3 Tel 028-624-4632）
- 5 競技規定（1）試合は国際柔道試合審判規定（最新版）による。
及び方法（2）男女ともトーナメント方式とする。ただし、エントリー少数の階級はリーグ戦を行う。
（3）試合時間は全試合 3 分とする。
（4）優勢勝ちの判定基準について
「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（ゴールデン
スコア）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。※「僅差」は
指導差 2 とする。
- 6 参加資格（1）選手は学校教育法第 1 条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
及び制限（2）栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、（公財）全日本柔道連盟に 20
19 年度登録予定が完成した者。
（3）参加は 1 学年に限る。ただし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
（4）男子個人試合（体重別 5 階級） 体重区分は次のとおりとする。
・軽量級 →60kg 以下の者 ・軽中量級→60kg を超え 73kg 以下の者
・中量級 →73kg を超え 90kg 以下の者 ・重量級 →90kg を超え 100kg 以下の者
・無差別級→体重制限無し
（5）女子個人試合（体重別 3 階級） 体重区分は次のとおりとする。
・軽量級 →52kg 以下の者 ・中量級 →52kg を超え 63kg 以下の者
・重量級 →63kg を超える者
（6）1 校あたりの参加人数に制限は設けない。
- 7 計 量（1）2 回まで認める。2 回目でクリアしない場合は失格とする。
（2）8：30～9：30（必ずこの時間内に行う）
（3）計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上が
T シャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。
- 8 参加申込※（1）（2）の手順を行うこと。
※女子個人各階級の申込み人数が 4 名を超えた場合、No.2 シートを使用する。
（1）電子データ申込み
①高体連柔道専門部のホームページより申し込みファイル(エクセル形式)をダウンロード

し、データを入力する。

○HPアドレス <http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>

(栃木県柔道連盟 → 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部 → 大会要項・申込み)

②データを入力した申込みファイル(公印不要)を電子メールに添付し、担当者アドレスまで送信する。担当者：栃木県立烏山高等学校 樋山 賢一 宛

○メールアドレス hiyama-k04@tochigi-edu.ed.jp

(2) 文書申込み(公印が捺された申込書)

①申込先 〒321-0973 宇都宮市岩曾町606番地

栃木県立宇都宮北高等学校内 吉澤 貴志 宛

②FAXによる申込は不可。大会不参加の場合は所定の用紙に記入しFAXにて回答する。

(3) 申込締切 令和元年8月28日(水) 必着とする。

※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。

(4) その他 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、本大会以外の目的に利用することはありません。

9 参 加 料 選手1名につき1,000円を徴収する。

10 組 合 せ 9月3日(火) 13:30～ 場所:スポーツ会館2F会議室

代表専門委員の責任により、抽選によって決定する。

※代表専門委員・・・吉澤(宇北)・市川(宇都宮)・関口(黒磯)・村田(宇南)

葭葉(國栃)・宮崎(宇短附)・樋山(烏山)

11 安全管理 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃高体連の「危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。

12 そ の 他 (1) 選手変更は、組み合わせ抽選の前日までとする。

(2) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

(ア)大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

(イ)大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

(ウ)練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

(エ)当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(3) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

(4) 平成27年4月1日施行の全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(赤ラベル)を着用すること。帯については青ラベルでもよい。また、女子の帯は白線の入っているものでよい。

(5) ゼッケン使用のこと。

栃高体連柔道専門部 委員長 吉澤 貴志 栃木県宇都宮北高等学校 TEL 028-663-1311 FAX 028-660-4726
